

高齢者を中心に支援している福祉援助職のための

精神障がいのある人と家族への 支援実践講座

高齢者の地域生活を支援している福祉援助職にとって、高齢者が精神障がいのある人である場合や、家族の中に精神障がいのある人がおられる場合、支援の困難性を感じることも少なくないと思われます。

この講座では、ストレングス視点により精神障がいのある人に対しての基本的な視点・支援方法を理解するとともに、演習により精神障がいのある人とその家族への支援の実践的なスキルを高めることを目指します。

受講対象

大阪市内の高齢者を中心に支援している福祉従事者で
全講座日程に参加できる人。

講座日程

講義と演習を5日間開催。いずれも午前10時～午後5時。
9月19日（木）、10月1日（火）、10月31日（木）、
11月21日（木）、12月18日（水）

会場

大阪市社会福祉研修・情報センター 会議室2

講座内容

高齢者を中心に支援している福祉援助職が、精神障がいのある人とその家族の支援をしていくうえで必要なストレングス視点に基づく基礎理論と技術を学び、各自の実践に基づく演習（事例検討等）を行なうことを目的としています。

講師

大阪市立大学 助教 清水由香
ゲストティーチャー
地域生活支援センター 相談支援専門員
精神障がい当事者

定員

24人（申込多数の場合は、選考の上受講者を決定）

受講料

10,000円

申込方法

受講申込書（別紙1）に必要事項を記入し、FAXでお申し込みください。

申込締切

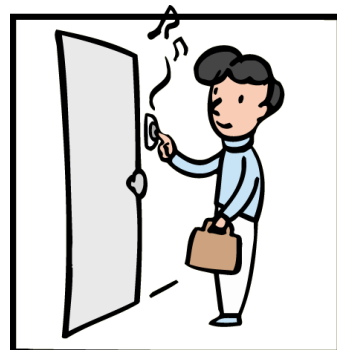
平成25年7月31日（水）必着

受講決定

8月20日頃に「受講決定通知書」を送付します。

申込先

大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当（担当：畑野）
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
電話06-4392-8201 FAX06-4392-8272



受講者の声

適度な信頼関係を築き、寄り添っていくことが大事。そうした関係を築くための技法も学べ、意識化することができた。

「支援する立場として正しい方向へ進めるために伝える情報は、相手の防衛本能を増やしてしまう」という話は、実際に体験したことで重なりました。

相手にも改善していくうえで段階があるので、そのペースに合わせたアセスメント技法や、かわり方が学べました。

（H24年度アンケートより）

申込FAX番号 06-4392-8272（申込締切 7月31日）

高齢者を中心に支援している福祉援助職のための
「精神障がいのある人と家族への支援実践講座」受講申込書

ふりがな			
名 前			
年 齢	歳	性 別	男 ・ 女
職 種	番号 ①相談員、支援員 ②介護支援専門員 ③介護職員 ④保育士 ⑤保健師、看護師 ⑥事務職、管理職 ⑦その他()	役 職	(記入例:主任、係長、チーフ、なし)
福祉業務経験年数	年 月	*経験年数 積算基準日 平成25年7月1日	
現(役)職での経験年数	年 月		
所 属	(所属施設名)		
	(種別) 記入例:特別養護老人ホーム、グループホーム、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所 など		
	(所在地) 〒		
	(電話番号) (FAX番号)		
<p>【次の課題について記述してください】（※申し込み多数の場合は、選考の上受講者を決定します）</p> <p>「支援している人やその家族の中に精神障がいのある人がおられる場合に、支援で困っていること」</p>			
備考欄 ☆車いす使用、手話通訳、拡大文字資料等が必要な方はその旨、ご記入ください。			

※大阪市社会福祉研修・情報センターでの個人情報の取り扱いについて

当センター主催の研修・講座に受講申し込みされる際には、名前、住所その他の個人情報を提供していただきますが、これらの情報は、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためのみ使用し、他の目的で使用したり、他者へ提供することはありません。